



国際市民フェスティバル

10月6日



世界の文化を肌で感じる

外国人と市民との交流を深めてもらおうと「国際市民フェスティバル」が国際文化会館で開催されました。屋外の会場では世界の料理を楽しめる模擬店が多数出店され、普段は味わえない料理を求めて多くの人の姿が。ステージでは色鮮やかな民族衣装を着たファッションショーや伝統的な踊りの発表などが行われました。また、東京2020パラリンピック競技であるブラインドサッカーやボッチャの体験コーナーが設けられるなど、さまざまなイベントが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



①世界の衣装が大集合②目隠しをしてボールをキック③ベトナムの踊りを披露④モンゴルの家庭料理も

うなバレー大会

9月28日

体を動かして楽しんで

本市発祥のニュースポーツ「うなバレー」を通して親交を深めてもらおうと「うなバレー大会」が市体育館で行われました。うなバレーは、うなりくんが描かれた柔らかいビニールボールを使う、幅広い世代が楽しめる競技。台風15号の影響もあり、参加できなかったチームも多く出ましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で、子どもから大人まで年齢に関係なく競技を楽しんでいました。



ボールの行方はいかに

ラテ・アートに挑戦

10月7日



マグカップに浮かぶ芸術

飲んで見て楽しめるラテアートを作る「ラテ・アートに挑戦」が国際文化会館で行われました。まずは講師が手本を見せ、作り方を説明。イメージ通りの絵を描くにはミルクの温度や注ぎ方が重要で、参加者は教わったコツを意識して挑戦し、何度か練習を重ねながら動物や人物の絵を描きました。初めて作ったという参加者は「かわいく描けるとうれしい。家でもやってみたい」と話していました。



ミルクは高いところから注ぐ

敬老会

10月5日



地域みんなで長寿を祝う

敬老の日にちなんで、市内に住む70歳以上の人を対象に、各地区で趣向を凝らして開催される敬老会。中台地区では1,175人が招待されました。会場となった中台中学校では、中台・向台小学校の児童による合唱やダンス、中台中学校吹奏楽部・成田国際高校箏曲部による演奏などが披露され、心のこもった発表に温かい拍手が送られました。また、会場の人みんなで歌ったり健康体操をしたりする場面もあり、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



①心に響く和の音色を奏でる②軽やかなダンスを披露③会場の人みんなで健康体操④吹奏楽部による息のあった演奏



ドキドキ縄文体験

9月29日

当時の情景を思い浮かべて

縄文時代の歴史や文化を学んでもらおうと「ドキドキ縄文体験」が下総公民館で開催されました。縄文時代の文化や当時の成田の様子などについて説明を受けた後、勾玉づくり^{まがたま}に挑戦。用意された原石を砥石^{といし}や紙やすりで削りながら完成させました。また、博物館に展示している縄文土器に直接触れる貴重な体験もしました。参加者の一人は「難しかったけど楽しかった。宝物の1つにしたい」と話していました。



丹精込めて原石を削る

自動車点検教室

10月5日



大事な相棒のメンテナンスを

日常からの車の点検方法を学ぶ「自動車点検教室」が中央公民館で行われ、市内外から34人が参加しました。参加者は運転席やエンジンルーム、ランプ・タイヤなどの点検箇所についてそれぞれ講師から説明を受け、日常点検の一連の流れを確認しました。点検の際の注意点やこつなどの細かな部分まで講師に質問するなど、日頃から車を大切にしようとする熱意が見られました。



エンジンオイルの確認方法を学ぶ